2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教 員による授業科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
330321063	保育内容(表現・演劇) Childcare Contents (Theatrical Expression)	山田悠莉			2	必修	2前期

科目の概要

学修内容

① 領域「表現」についての理解を深め、身体的表現・言語的表現 (演劇) を通して幼児が表現することの意義を知る。 ② 幼児が主体的かつ自由に表現を楽しむための環境設定を考え

領域「表現」では、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすることを培うことを目指している(DP2・3)。この科目では、領域「表現」のねらいと内容を実践的に学ぶとともに、身体的表現、言語的表現である「演劇」に焦点をあてて、幼稚園教諭・保育士に必要な豊かな「表現」 の技術と実践的方法を身に付ける。

到達目標

① 領域「表現」についての理解を深め、演劇を通して幼児が表現することの意義を知ることができる。 ② 幼稚園教諭・保育士として幼児が主体的かつ自由に表現を楽しむための環境を整えられるようになる。 ③ イメージを身体で表現したり、役になり切って演じたり、表現の仕方を工夫したりする中で表現することの楽しさを体感することができま

る。 3 3 現る。 幼で他 高 (個)	ージを身体で表現した 方を工夫したりする中で 園教諭・保育士に必要 る力を身に付ける。 と密にコミュニケーシ	現を楽しむための環境設定を考えり、後になり切って演じたり、表現を楽しむための環境を整えられるようになる。 り、役になり切って演じたり、表で表現することの楽しさを体感することの楽しさを体感することができる。 な表現の技術と方法を取得し、活っており合い、皆で創造する難しまする。 「他者と密にコミュニケーションを取り合い、皆で創造する難しまれる。」は一番と密にコミュニケーションを取り合い、皆で創造する難しまれる。 「会話を体感しながら、目標達成に向けて協力することができる。」は「大きないった」と言います。							
	発揮させる社会人基 能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例							
	主体性	・自ら計画して準備や練習を行うことができる。							
前に踏 み出す 力	働きかけ力	・グループにおける自身の役割を自覚し、他者に対して積極的に助言や呼びかけを行うことができる。							
	実行力	・目標を達成するために、計画に沿って確実に行動することができる。							
	課題発見力	・自身の、またグループ全体の現状を的確に把握し、課題を明らかにすることができる。							
考え抜く力	計画力								
	創造力	・グループ全員で思いやイメージを共有し、それが相手に伝わるように表現の工夫をする ことができる。							
	発信力	・知識・技術を活用し、相手に向けて意図的に表現することができる。							
	傾聴力	・他者の多様な表現を受け止め、認めることができる。							
チーム で働く	柔軟性								
力	情況把握力	・コミュニケーションを密に取り合いグループ全体の状況把握をしながら、全員で協力し合える環境づくりに努めることができる。							
	規律性	・設けた期限を必ず守ることができる。							
	ストレスコントロールナ								

他科目との関連、資格との関連

テキスト及び参考文献

「保育内容(表現・演劇)」は、専門分野の保育の内容・方法に関する科目の一部であり、 「保育内容(表現A)」 「保育内容(言葉)」「保育内容(健康)」で獲得した保育内容の領域に対する考え方や他の科目で培った知識・技能を広く活用する。また、「保育内容(表現・演劇)」は、その後に履修する「保育内容(表現B)」「保育内容(環境)」等の基盤となる科目である。なお、本科目は、幼稚園教諭一種免許及び保育士資格と関連している。

参考文献:「幼稚園教育要領解説 平成30年」文部科学省、その他、課題に応じて次第指示する。

学修上の助言	受講生とのルール			
・「こども音楽Ⅰ」及び「こども音楽Ⅱ」を単位認定されていることが望ましい。	・毎時、運動できる服装で参加をしてください。服装の不備が続き活動に支障が出る場合、出席とみなさない場合があります。体育館シューズ等は必要ありません。・計画に沿って進めていけるように、授業での準備・練習の時間を大切にしましょう。・仲間と協力して進める活動があるため、欠席をしないようにしましょう。やむを得ず練習や発表を欠席する場合には、その旨をできるだけ早くグループの仲間に伝える、代役を立てるなど、配慮、工夫をしましょう。			

【評価方法】

評価 対象	評価方法		評価の 割合	到達目標			Ę	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
	学期末試験	筆記(レポー ト含む)・実 技・口頭試験	0	① ②				
				3				-
				4				-
				5				
				1				
			0	2				
		小テスト		3				
学修成果				4				
				5				
	平常評	レポート	30	1	1			・授業内で提出する、全レポート課題の記述内容から、知識や理解、考え、準備・練習の取り組み姿勢などを評価する。(計30点)
				2	✓			-
				3	1			
				4	1			
		成果発表(プ レゼンテー ション・作品 制作等)	60	5	✓			中間な主 (10 上)
	価			1				・中間発表(10点) ・授業内発表①(10点)
				2				・授業内発表② (10点)・最終発表 (30点)
				3	✓ ✓			-
				(4) (5)	1			
			10	1	1			(主体性)・自ら計画して準備や練習を行うことができる。 (働きかけ力)・グループにおける自身の役割を自覚し、他者に対して積極的に助言や呼びかけを行うことができる。
学修行動		社会人基礎力 (学修態度)		2	1			(実行力) ・目標を達成するために、計画に沿って確実に行動することができる。
				3	1			(課題発見力) ・自身の、またグループ全体の現状を的確に把握し、課題を明らかにすることができる。 (創造力) ・グループ全員で思いやイメージを共有し、それが相手に伝わるように表現の工夫をすることができる。
				4	1			(発信力)・知識・技術を活用し、相手に向けて表現することができる。 (傾聴力)・他者の多様な表現を受け止め、認めることができる。 (情聴力)・心者の多様な表現を受け止め、認めることができる。 (情况把握力)・コミュニケーションを密に取り合いグループ全体の状況把握をしながら、全員で協力し合える環境づくりに努めることができる。
				(5)	1			(情况把握力)・コミュニケーションを密に取り合いクループ全体の状况把握をしながら、全負で協力し合える環境づくり に努めることができる。 (規律性)・設けた期限を必ず守ることができる。
		100				1		

【到達日煙の其准】

【到達目標の基準】					
到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準				
レポート、中間、成果発表等を合わせて90点以上取得した場合に、S(秀)とする。 レポート、中間、成果発表等を合わせて80点以上(90点未満)取得した場合に、A(優)とする。	レポート、中間、成果発表等を合わせて70点以上(80点未満)取得した場合に、B(良)とする。 レポート、中間、成果発表等を合わせて60点以上(70点未満)取得した上で、中間発表、リハーサル、発表を含む授業の出席状況、課題の提出状況をふまえ、授業内での取り組みに積極的に参加する姿勢が見られた場合にはC(可)とする。				

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<オリエンテーション > ・保育内容「表現」領域についての講義 ・身体を使ったコミュニケーションワーク	講義・演習・グループワーク	・受講のルールを理解 することができる。 ・本授業の振り返りを 提出することができ る。	予習:保育内容「表現」になって調べについて調べる。 現」なる。学んだことをよりにまといる。 りにまとめる。	90	主体性 体性 かカカ 東親題治 育 東 題 治 育 カカ 力 大 担 指 に で で う 力 カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ
2	<身体的表現について > ・幼稚園教育要領 領 域「表現」を理解 ・保育現場における表 現あそび	講義・演習・ディス カッション	・領域「表現」のねらいについて理解することができる。 ・本授業の振り返りを 提出することができる。	予習:幼稚園教育時間で表現」の理解を表現」の理解を表現」の理解を深める。では、シートにまり、ノートにまとめる。	90	主体性 ・ 動き行動 ・ 実題造力 ・ 力 ・ 見力 ・ 力 ・ 力 ・ 力 ・ 力 ・ 力 ・ 力 ・ 力 ・
3	<身体的表現①> ・リズムから生まれる 表現(幼児曲、童謡) ・リズムダンス素材集 の活用	演習・ディスカッショ ン	・本授業の振り返りを 提出することができ る。	予習:表現するリズム (音楽)に関味があいた。 (音楽)に関いがでいます。 (音楽)に関いがでいます。 (音楽)に関いがでいます。 (では、) (でも、) (でも) (でも) (でも) (でも) (でも) (でも	90	主体性 ・動き行動 ・実に ・変に ・変に ・変に ・変に ・変に ・変に ・変に ・変に ・変に ・変
4	<身体的表現②> ・イメージから生まれる表現 ・場面設定「お話の世界」を想定した発表	演習・ディスカッショ ン	・計画にそって準備・ 練習を進めることがで きる。 ・本授業の振り返りを 提出することができ る。	予習:表現するリズム(音楽)に興味を持ち、事前にリズム、パート分け、振付を確認しておく。復習:学んだことを振り返りの表現の確認を繰り返し行い、改善する。	90	主体性 (動き行題造力) 実題造信聴力力 が開発力力力を 関連信息で が現まれた。 は は は は は に は に に れた に に に に に に に に に に に に に に た に た
5	<身体的表現③> ・ものを使った表現 (新聞紙、布等) ・場面設定「お話の世界」を想定した発表	演習・ディスカッショ ン	・計画にそって準備・ 練習を進めることができる。 ・本授業の振り返りを 提出することができる。	予習:表現するリズム(音楽)に興味を持ち、事前に リズム、パート分け、振付 を確認しておく。 復習:学んだことを振り返り、表現の確認を繰り返し 行い、改善する。	90	主体性 (特別の (特別の (特別の (特別の (特別の (特別の (特別の (特別の
6	<身体的表現④> ・動きから生まれる表 現(12の自然運動) ・場面設定「お話の世 界」を想定した発表	演習・ディスカッショ ン	・計画にそって準備・ 練習を進めることができる。 ・本授業の振り返りを 提出することができる。	予習:表現するリズム(音楽)に興味を持ち、事前に リズム、パート分け、振付 を確認しておことを振り返 復習:学んだことを振り り、表現の確認を繰り返し 行い、改善する。	90	主体性 体性 が力 実課が が力発力力力 が が が が が が が が が が が が が
7	<身体的表現④まとめ > ・リズム、即興、表現 を統合した身体的表現 ・場面設定「お話の世 界」を想定した発表	講義・演習・ディス カッション	・計画にそって準備・ 練習を進めることがで きる。 ・本授業の振り返りを 提出することができ る。	予要備・記した。 連備・記してことに表する。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	90	主働実課創発傾情規
8	<総合的表現「劇あそび」導入> ・演目を選定し、劇あそびの計画を立案する。 ・計で見通しを持ち、役割分担を考える。	演習・ディスカッショ ン	・計画にそって準備・ 練習を進めることができる。 ・本授業の振り返りを 提出することができ る。	予習は ・準備・表 ・準備を進めたことに ・準備を進めたことに ・では、 ・準備を進めたことに ・では、	90	主働実課創発領情規

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<言語的表現①セリフと身振り>・立ち稽古・表現内容を工夫し、場面を構築するためのグループ活動・課題解別の計を準備・練習の共有)	演習・ディスカッショ ン	・課題を明確にし、解決のための計画を立てることができる。。・レポートを提出することができる。	予要台復りめるをまる。 ・準備・えしだートを記述を記述した。 ・神がをにきるを表したことによるを記述した。 ・のではいるでは、 ・でのでのでは、 ・でのでのでのでのでは、 ・でのでのでのでのでのでは、 ・でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	90	主働実課創発傾情規
10	<言語的表現②演出及びナレープでを現立と称した。 ・グループでを記した。 ・表現をで工力をでででででででででででででででででででででででででででででででででで	演習・ディスカッション	・準備・練習における 課題を明確にし、意見を のため、計画を立て をができる。 とができる。 ・本授業の振り返りき 提出することができる。	予要台復りめる語 ・維 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ を ・ ・ を ・ を ・ り 。 し に と に と に と に り 。 し り 。 し り 。 し り 。 し り 。 し り 。 し り 。 し り 。 し り 。 り り る と 。 り る ら 。 ら ら 。 ら る ら 。 ら る ら 。 ら 。 ら 。 ら 。	90	主働実課創発傾情規 を持た。 は、
11	<総合的表現「劇あそび」を表表の表現「劇あるとめる表現」を表表の制度を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	演習・ディスカッショ ン	・準備・練習における 課題を明確にし、解決 のために具体的に改善 することができる。 ・本授業の振り返りを 提出することができ	予要台復りめる語 ・維、てことによる。 ・維をがを出場している。 ・変にいる。 ・変には、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	90	主働実課創発傾情規 中性か力発力力力 主に動発が力力力 が見 が 力力力力 指標 で で で の の の の の の の の の の の の の の の の
12		演習・ディスカッショ ン	・リハーサル①における課題を明確にし、意見についることができることができる。 本授業の振り返りを提出することができる。	予要表復りめ認善 予要表復りめ認善 予要表復りめ認善 一、にきる。 を把学んノ身を にきるをまの、 にきるをまの、 にきるをまの、 にきるをまの、 のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし	90	主体性 体性 か力見力 実題造力力 領聴決力 損発 領球、担性 カカリー 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力
13	<グループ発表に向けてのリハーサル②> ・発表に向けたリハーサルの実施・課題を解決するための準備・練習(必要に応じて動画を視聴)	演習・ディスカッショ ン	・リハーサル②における課題を明確にし、解決のために具体的に改善することができる。・本授業の振り返りを提出することができる。	・ 神備・ 神術・ 神術を指したこと ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 はいる。 にいる。 にいる。 はいる。 にいる。 はいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にい。	90	主働実課創発領情規
14	< グループ発表 > ・ グループ発表 、動画 撮影 ・ 他者の表現の鑑賞	演習・ディスカッショ ン	・前回のグループワー クでの発表単備を課題を たて得た知見決にうる 明確にし、解決にうる 明体間と意見を できる。 ・本授業の振りを 提出することができる。	予習:準備・練習にきて ・連備・練工を表現内容をを担ける。 ではませいでは、 ではませいでは、 ではませいでは、 ではいる。 ではい。 ではいる。 ではいる。 ではい。 ではいる。 ではい。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	90	主働実課創発傾情規
15	<まとめ> ・授業の振り返り ・保育者に必要な「豊 かな表現力」について	遠隔課題(動画視聴 後、レポート課題取り 組む)	・保育現場における演における現場ではおり、ての学の課題を表して、 りのことが表して、 りのことが表して、 りのことが表して、 りた本授業のことが表して、 もので表して、 ものである。 りた本性は、 ものである。 ものでものである。 ものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでも	予習:活動を振り返 り、学びを整理してお く。 ででででででである。 でである。 でである。	90	主働実課創発傾情規はかり、力力を表示を表示を表すのであります。

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力